

番号 15791119, 2004 年 .

- 9) 大山喬史, 森本俊文, 河野正司, 片山芳文, 野首孝祠, 古谷野潔, 秀島雅之: 床義歯の設計様式が口腔感覚に及ぼす影響について, 14 年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究 (A)(1) (継続), 課題番号 13307056, 2004 年 .
- 10) 五十嵐順正, 野首孝祠, 河野正司, 大山喬史, 赤川安正, 石上友彦, 山下秀一郎: 欠損歯列における補綴介入および「短縮歯列」処置に関するマルチセンター・リサーチ, 平成 16 年度科学研究補助金 (基盤研究 (A)(1)), 課題番号 16209058, 2004 年 .
- 11) 佐藤直子 (五十嵐直子): 開口運動は頭頸と下顎の直合運動である, 平成 15 年度科学研究補助金 若手研究 B (継続), 課題番号 15791122, 2004 年 .

【受賞】

- 1) Rezwana B A: 第 111 回日本補綴歯科学会学術大会 デンツプライ賞, 2004 年 5 月 22 日, 2004 年 .
- 2) 本間 濟: 日本顎口腔機能学会奨励賞, 2004 年 11 月 12 日, 2004 年 .

訂正追加項目

【受賞】

平成 15 年度
受賞

- 1) 田中みか子, 大橋直子, 河野正司, 江尻貞一: 顎骨データを用いた骨粗鬆症診断の可能性に関する基礎的検討, 第 108 回日本補綴歯科学会学術大会 デンツプライ賞, 2003 年 .

加齢歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Stegaroiu Roxana, Ameen Khraisat, Nomura Shuichi, Miyakawa Osamu: Influence of superstructure materials on strain around an implant under two loading conditions: A technical investigation. *Int J Oral Maxillof Implants*, 19 (5): 735-742, 2004.
- 2) Khraisat A, Hashimoto A, Nomura S, Miyakawa O: Effect of lateral cyclic loading on abutment screw loosening of an external hexagon implant system. *J. Prosthet Dent*, 91 (4): 326-34, 2004.
- 3) Watanabe K, Hashimoto A, Endo MM: Trace elements on the surface of titanium implants extracted from rat bone. *Biomed Res Trace Elements*, 15(3): 262-264, 2004.
- 4) Eriko Kitamura, Roxana Stegaroiu, Shuichi Nomura, Osamu Miyakawa: Influence of marginal bone resorption on stress around an implant - A three-dimensional finite element analysis -. *J of Oral Rehabil*, 32(4): 279-286, 2005.
- 5) Eriko Kitamura, Roxana Stegaroiu, Shuichi Nomura, Osamu Miyakawa: Biomechanical aspects of marginal bone resorption around osseointegrated implants: Considerations based on a three-dimensional finite element analysis. *Clin Oral Impl Res*, 15: 401-412, 2004.
- 6) Masumi Asatsuma, Satoshi Ito, Mamoru Watanabe, Hideyuki Takeishi, Shuichi Nomura, Yoko Wada, Masaaki Nakano, Fumitake Gejyo, Atsuko Igarashi: Increase in the ratio of matrix metalloproteinase-9 to tissue inhibitor of metalloproteinase-1 in saliva from patients with primary Sjogren syndrome. *Clinica Chimica Acta*, 345: 99-104, 2004.
- 7) Takeshi Suzuki, Shuichi Nomura, Takeyasu Maeda, Hayato Ohshima: An immunocytochemical study of pulpal responses to cavity preparation by laser ablation in rat molars by using antibodies to heat shock protein (Hsp) 25 and class II MHC antigen. *Cell Tissue Res*, 315: 311-319, 2004.
- 8) Fabricio I. Tapety, Norio Amizuka, Katsumi Uoshima, Shuichi Nomura, Takeyasu Maeda: A histological evaluation of the involvement of Bio-Oss in osteoblastic differentiation and matrix synthesis. *Clin Oral Impl Res*, 15: 315-324, 2004.
- 9) Hirotsugu Hao, Norio Amizuka, Kimimitsu Oda, Noritaka Fujii, Hideo Ohnishi, Atsushi Okada, Shuichi Nomura, Takeyasu Maeda: A histological evaluation on self-setting β -tricalcium phosphate applied in the rat bone cavity. *Biomaterials*, 25: 431-442, 2004.
- 10) Mamoru Watanabe, Masumi Asatsuma, Akihiro Ikui, Minoru Ikeda, Yoshiaki Yamada, Shuichi Nomura, Atsuko Igarashi: Measurements of Several Metallic Elements and Matrix Metalloproteinases (MMPs) in Saliva from Patients with Taste Disorder. *Chemical Senses*, 30(2): 1-5, 2005.
- 11) Ueda K, Yamada Y, Toyosato A, Nomura S, Saito E: Effects of functional training of dysphagia to prevent pneumonia for patients on tube feeding. *Gerodontology*, 21: 108-111, 2004.
- 12) 清水純子, 伊藤明子, 山本洋子, 伊藤雅章, 橋本明彦, 本間 香: 新潟大学皮膚科における 10 年間の扁平苔癬症例のまとめ; 特に歯科金属との関連につ

いて. 日皮会誌, 114: 1277-1282, 2004.

- 13) 野村修一, 橋本明彦: 歯科金属アレルギーの臨床, 新潟歯学会誌, 34 (1): 1-10, 2004.
- 14) 小林康子, 橋本明彦, 木暮城二, 野村修一: 本院における歯科金属アレルギーが疑われる症例の感作陽性率とアレルギー保有率の変化, 新潟歯学会誌, 34 (1), 35-39, 2004.
- 15) 伊藤加代子, 竹石英之, 浅妻真澄, 渡部 守, 船山さおり, 五十嵐敦子, 野村修一, 山田好秋: くちのかわき(ドライマウス)外来における初診患者の臨床統計的検討. 新潟歯学会誌, 34(1):59-61,2004.
- 16) 田口裕哉: コラーゲン性吸収膜を用いたGBR法に関する組織学的観察. 新潟歯学会誌, 34(1), 261-262, 2004.
- 17) 野村修一: 高齢者の健康寿命と口腔機能の保持. 日本老年医学会雑誌, 41(3):271-274,2004.
- 18) 小野和宏, 小林正治, 安島久雄, 高木律男, 毛利 環, 橋本明彦, 田中 礼: 垂直的顎骨延長法を用いて顎堤形成を行った1例, 新潟歯学会誌, 34 (2): 55-60, 2004.
- 19) 那須真樹子, 網塚憲生, 李 敏啓, 野村修一, 前田健康: 致死型軟骨無形成症の組織異常と細胞内シグナリング - 小胞体からのアポトーシスシグナルの可能性 - . 新潟歯学会雑誌, 34(2), 243-246, 2004.

【著書】

- 1) 藤井規孝, 大西英夫, 野村修一: 歯頸部辺縁が露出した歯冠補綴物(杉崎正志 監修). 臨床における不安と疑問. 82-85, ヒョーロン, 東京, 2004.
- 2) 橋本明彦: クラウン・ブリッジの補修(福島正義, 加藤一誠, 山田敏元, 橋本明彦). MIに基づいた迅速補修技法. 22-35, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2004.
- 3) 橋本明彦: 金属アレルギー検査(竹下直道, 栗石 聡, 宮崎秀夫, 新庄文明, 森田 学編). 予防歯科実践ハンドブック. 42-43, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 4) Roxana Stegaroiu, 林 孝文: 第12回医学教育セミナーとワークショップ「歯科のPBLシナリオの作成」・チャレンジャーからみた歯科のPBLシナリオの作成過程(高橋優三・鈴木康之編). 新しい医学教育の流れ'04. 発行三恵社, (印刷中).
- 5) 野村修一, 豊里 晃: 高齢者の診査と治療方針の決定(渡邊 誠, 岩久正明 監著). 歯科衛生士のための高齢者歯科学. 71-92, 永末書店, 東京, 2005.

【商業誌】

- 1) 五十嵐敦子, 渡部 守, 野村修一: 味覚の加齢変化. 総合臨床, 53(10):2713-2718,2004.

【研究成果報告書】

- 1) Stegaroiu Roxana: インプラント・骨の界面における全面吸収を予測する三次元有限要素モデルの追求. 文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究(B) 課題番号 16791186, 2005年.
- 2) 橋本明彦: 口腔内電位と唾液性状を指標とした修復金属溶出に関する検査方法. 文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究(BⅡ継続) 課題番号 14771081, 2005年.
- 3) 佐藤孝弘: ソケットリフト併用により植立されたインプラント周囲骨の動態に関する研究. 文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究(BⅡ継続) 課題番号 14771218, 2005年.
- 4) 野村修一, 豊里 晃, 山田好秋, 五十嵐敦子, 井伊直子, 野村章子: ベッドサイドで使用できる摂食・嚥下機能の総合的評価システムの構築とその臨床応用. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(BⅡ2) 課題番号 15390580, 2005年.
- 5) 野村章子, 河野正司, 山田好秋, 野村修一, 植田耕一郎, 城斗志夫, 高橋肇, 相馬泰栄, 中澤孝敏, 佐々木聡, 丸山満, 江川広子, 本間和代: グルテンをベースとした摂食・嚥下障害者用介護食の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(BⅡ2) 課題番号 14370629, 2005年.
- 6) 田口裕哉: 骨再生誘導(GBR法)における骨組織再生過程と周囲組織の細胞動態の解明. 平成16年度新潟大学プロジェクト推進経費研究, 2005年.

【講演】

- 1) 佐藤孝弘: Pre-requisite factors of implant success Prosthetic aspect. Japanese ITI Pre-Symposium 2004, 東京, 2004年6月4日 - 6日, 2004年.
- 2) 野村修一: ドライマウスの臨床, 三二会学術講演会, 富山市, 2004年7月11日, 2004年.
- 3) 佐藤孝弘: Sinus Lift hands-on course. IRM (International Relation Membership) 会 地域セミナー, 福岡, 2004年8月29日, 2004年.
- 4) 野村修一: 摂食・嚥下リハビリテーション - 人としての尊厳を保つために -, 第15回日本老年歯科医学会, 鹿児島市, 2004年9月19日, 2004年.
- 5) 佐藤孝弘: インプラントで素敵な笑顔を取り戻す. 平成16年度新潟大学歯学部公開講座, 新潟, 2004年10月8日, 2004年.
- 6) 田口裕哉: Today's GBR Consensus on Clinical Biology. 平成16年度新潟 SJCD (Society of Japan Clinical Dentistry) 12月例会, 新潟, 2004年12月1日, 2004年.

- 7) 佐藤孝弘: I P I (Immediate Provisional Implant) を使用した即時機能回復症例 . 平成 16 年度新潟 SJCD (Society of Japan Clinical Dentistry) 2 月例会 , 新潟 , 2005 年 2 月 2 日 , 2004 年 .
- 8) 佐藤孝弘: X 線の読影について - デンタル X 線と X 線 C T - . 平成 16 年度 T D R G (Tohoku Dental Research Group) 3 月例会 , 山形 , 2005 年 3 月 17 日 , 2005 年 .
- 【学会発表】**
- 1) 星名秀行, 橋本明彦, 青柳貴之, 長島克弘, 藤田 一, 永田昌毅, 飯田明彦, 高木律男, 新垣 晋, 林 孝文: 口腔腫瘍外来: 第 2 報 腭骨・インプラント義歯により咬合再建した下顎腫瘍 2 例 . 平成 16 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2004 年 4 月 24 日, 新潟歯学会誌 34 (1), 75, 2004 年 .
- 2) 大内章嗣, 大島勇人, 富沢美恵子, 福島正義, 山崎和久, 隅田好美, 小野和宏, 五十嵐敦子, 八木稔, Stegaroiu Roxana, 中島俊一, 山田好秋 . 4 年制歯科衛生士養成課程新入生に対する卒業進路希望等に関するアンケート調査 . 第 23 回日本歯科医学教育学会, 新潟, 2004 年 7 月 1 日, 同学会抄録集, 41, 2004 年 .
- 3) 魚島勝美, 橋本明彦, 田中みか子, 杉田典子, 富田文仁, 長島克弘, 泉 直也, 前田健康, 山田好秋: 新潟大学歯学部における咬合模型実習の試み . 第 23 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟, 2004 年 7 月 2 日, 同学会抄録集, 67, 2004 年 .
- 4) 渡辺孝一, 橋本明彦, 遠藤ミゲル雅崇: ラット骨内埋入・摘出チタン表面で検出された微量元素 . 第 15 回日本微量元素学会, 東京, 2004 年 7 月 2 日, Biomedical Research Trace Elements 15 (2), 9, 2004 年 .
- 5) 荒井良明, 寺田員人, 高木律男, 西山秀昌, 山田一尋, 高田佳之, 小野由紀子, 安島久雄, 桜井直樹, 井伊直子: 本院における 10 年間 (1994 - 2003) の顎関節症治療の臨床統計学的検討 . 第 17 回日本顎関節学会学術大会, 新潟, 2004 年 7 月 4 日-5 日, 同抄録集, 132, 2004 年 .
- 6) 田巻元子, 伊藤加代子, 豊里 晃, 野村修一: 要介護者に対する専門的口腔ケアの介入頻度による効果, 平成 16 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2004 年 7 月 10 日, 新潟歯学会雑誌, 34(2), 274, 2004 年 .
- 7) 有森智子, 橋本明彦, 宮川 修, 野村修一: レーザー溶接における照射回数純チタンの硬さおよび金属組織に及ぼす影響 . 平成 16 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2004 年 7 月 10 日, 新潟歯学会雑誌, 34(2), 275, 2004 年 .
- 8) 本間美和子, 岡田 淳, 野村修一, 山田好秋: ヒトの自由咀嚼時の嚥下に伴う舌骨動態の特徴 . 平成 16 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2004 年 7 月 10 日, 新潟歯学会雑誌, 34(2), 278, 2004 年 .
- 9) 岡田直人, 渡邊清志, 飛田 滋: 重度変色歯に対するポーセレンラミネートベニアの色調遮蔽性に関する研究 (第 2 報) . 第 26 回日本歯科技工学会, 新潟, 2004 年 7 月 31 日 - 8 月 1 日, 日本歯科技工学会雑誌, 25(2), 293, 2004 年 .
- 10) 渡邊清志, 飛田 滋, 岡田直人: フルバランスドオクルージョンにおける臼歯部排列時の調節湾曲に関する研究 (第 3 報) . 第 26 回日本歯科技工学会, 新潟, 2004 年 7 月 31 日 - 8 月 1 日, 日本歯科技工学会雑誌, 25(2), 270, 2004 年 .
- 11) 飛田 滋, 渡邊清志, 岡田直人: 鑄造工の生理的かつ機能的な維持力と形態について (第 6 報) . 第 26 回日本歯科技工学会, 新潟, 2004 年 7 月 31 日 - 8 月 1 日, 日本歯科技工学会雑誌, 25(2), 261, 2004 年 .
- 12) 浅妻真澄, 伊藤加代子, 渡部 守, 竹石英之, 五十嵐敦子, 野村修一: 口腔乾燥症状に対するウェットケア の効果 . 第 10 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 新潟, 2004 年 9 月 10 - 11 日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 8(2), 248, 2004 年 .
- 13) 北村絵里子, ステガロク・ロクサーナ, 佐藤孝弘, 野村修一, 宮川 修: インプラント周囲に生じる骨吸収に関する力学的検討 - 三次元有限要素法による応力解析 - . 平成 16 年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2004 年 9 月 12 日, 同学術大会抄録集, 16, 2004 年 .
- 14) 田口裕哉, 佐藤孝弘, 野村修一: 吸収性膜を用いた GBR 法の基礎的・臨床的考察 . 平成 16 年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2004 年 9 月 12 日, 同学術大会抄録集, 16, 2004 年 .
- 15) 五十嵐敦子, 伊藤加代子, 浅妻真澄, 渡部 守, 竹石英之, 野村修一: くちのかわき (ドライマウス) 外来患者の臨床統計的検討 . 第 15 回日本老年歯科医学会, 鹿児島, 2004 年 9 月 19 日, 老年歯科医学, 19(3), 236, 2004 年 .
- 16) 田巻元子, 伊藤加代子, 豊里 晃, 野村修一: 要介護者に対する専門的口腔ケアの介入頻度による効果, 第 15 回日本老年歯科医学会, 鹿児島, 2004 年 9 月 19 日, 老年歯科医学, 19(3), 202, 2004 年 .
- 17) 川岸恵理子, 楯 泰昌, 大島邦子, 野村修一, 大島勇人: 高齢ラット臼歯窩洞形成後の歯髄におけるストレスタンパク質 HSP-25 発現と抗原提示細胞の動態について . 第 46 回歯科基礎医学学会学術大会・総会, 広島, 2004 年 9 月 23 日 -25 日, 歯科基礎医学学会雑誌,

- 46(5),403, 2004年.
- 18) 那須真樹子, 網塚憲生, 李 敏啓, 野村修一, 前田健康: 変異型線維芽細胞増殖因子III型受容体(FGFR3)による軟骨細胞のアポトーシス. 第46回歯科基礎医学会学術大会, 広島, 2004年9月24日, 歯科基礎医学会雑誌, 46(5), 406, 2004年.
- 19) 渡辺孝一, 橋本明彦, 野村修一, 遠藤ミゲル雅崇, 大川成剛, 金谷 貢, 中野周二, 小林正義, 宮川 修: 歯科インプラントの表面特性について(第二報) - ラット骨内埋入・摘出チタン試料の表面分析 -. 第44回日本歯科理工学会学術講演会, 京都, 2004年9月24日, 歯材器 23 (5), 329, 2004年.
- 20) 有森智子, 橋本明彦, 宮川 修, 野村修一: レーザ溶接した純チタンの熱影響部の検索 突き合わせ面表層・直下の金属組織観察. 第112回日本補綴歯科学会学術大会, 横須賀, 2004年10月16日, 日本補綴歯科学会雑誌, 48 (112), 2004年.
- 21) Roxana S, Nomura S, Miyakawa O: Influence of Implant Diameter on Peri-Implant Strains in Anisotropic Versus Isotropic Three-Dimensional Finite Element Models. 第112回日本補綴歯科学会学術大会, 横須賀, 2004年10月15日, 日本補綴歯科学会雑誌, 48 (112), 184, 2004年.
- 22) 五十嵐敦子, 渡部 守, 浅妻真澄, 竹石英之, 伊藤加代子, 野村修一: 味覚障害患者の臨床統計的観察. 第20回日本歯科医学会, 横浜, 2004年10月29日, 日本歯科医師会雑誌, 57(4), 417, 2004年.
- 23) 野村修一, 豊里 晃, 野村章子: ベッドサイドで利用できる摂食・嚥下機能評価システム. 第20回日本歯科医学会, 横浜, 2004年10月31日, 日本歯科医師会雑誌, 57(4), 90, 2004年.
- 24) 那須真樹子, 網塚憲生, 李 敏, 野村修一, 前田健康: 変異型線維芽細胞増殖因子受容体III型による軟骨細胞のアポトーシス, 平成16年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2004年11月13日, 新潟歯学会雑誌, 34(2), 286, 2004年.
- 25) 那須真樹子, 網塚憲生, 李敏 啓, 野村修一, 前田健康: 致死型軟骨無形成症II型における骨端軟骨への血管侵入異常. 平成16年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2004年11月13日, 新潟歯学会雑誌, 34(2), 287, 2004年.
- 26) 岡田 淳, 本間美和子, 野村修一, 山田好秋: ヒトの自由咀嚼運動中における摂食動態および二つの嚥下反射の特徴. 平成16年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2004年11月13日, 新潟歯学会雑誌, 34(2), 290, 2004年.
- 27) 渡部 守, 浅妻真澄, 山田好秋, 野村修一, 五十嵐敦子: 味覚障害患者唾液中の微量金属元素と金属プロテアーゼ. 平成16年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2004年11月13日, 新潟歯学会雑誌, 34(2), 292, 2004年.
- 28) 佐藤 隆, 片山 修, 河内 博, 河野正司, 野村修一, 豊里 晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 大内章嗣: 要介護認定申請者の口腔内の実態と要介護者への義歯治療の効果について. 第8回新潟栄養・食生活学会, 新潟, 2004年11月27日, 2004年.
- 29) 橋本明彦, 渡辺孝一, 白倉正基, 田口裕哉, 中館正芳, 野村修一, 遠藤ミゲル雅崇: 純チタンインプラントの表面性状評価に関するin vivo研究 - Ca, P吸着および細胞付着について -. 第18回歯科チタン学会学術講演会, 塩尻, 2005年2月19日, チタンと歯科臨床 3(1), 39, 2005年.
- 30) 渡辺孝一, 橋本明彦, 野村修一, 大川成剛, 金谷 貢, 宮川 修, 遠藤ミゲル雅崇: ラット骨内に埋入・摘出されたチタン表面のXPS分析. 第18回歯科チタン学会学術講演会, 塩尻市, チタンと歯科臨床 3 (1), 36, 2005年.

【その他】

- 1) 橋本明彦: チタンの歯科臨床. 新潟市歯だより 160, 8-11, 2004年.
- 2) 田巻元子, 野村修一: 要介護者への専門的口腔ケアのすすめ. 歯科保健だより, 51: 4-5, 2004年.
- 3) 伊藤加代子, 野村修一: 要介護高齢者への歯科治療のすすめ. 歯科保健だより, 52: 6-7, 2004年.
- 4) 伊藤加代子, 野村修一: 歯と口の健康 - 口の渇きで悩んでいませんか -. にいがたオアシス 21, 48: 16-17, 2004年.
- 5) 野村修一: 歯科金属アレルギーの診断と治療, 平成16年度生涯研修ライブラリー No.0404, 日本歯科医師会, 2005年.
- 6) 橋本明彦: 金属アレルギー治療のポイント, 平成16年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2004年7月14日, 2004年.
- 7) 佐藤孝弘: 最新インプラント治療のコンセプト. 平成16年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2004年10月20日, 2004年.
- 8) 井伊直子: 歯科用レーザーの現状と未来. 平成16年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2004年2月2日, 2004年.
- 9) Stegaroiu Roxana: 歯科インプラントおよびインプラント周囲骨の力学的分析. 平成16年度新潟大学研究シーズプレゼンテーション, 新潟, 2004年9月13日, 2004年.
- 10) Stegaroiu Roxana, 渡邊直子, 田中みか子, 池亀美華, 江尻貞一: インプラント周囲骨の3次元有限要素解

析 - 骨梁レベルまでシミュレートしたモデルを用いて - . 第8回TRIユーザー交流会, 東京, 2004年11月27日, 2004年.

歯科矯正学分野

【論文】

- 1) Saito I, Okamoto Y, Gogen H, Shanfeld J, Hanada K, Davidovitch Z: Alterations in staining intensity for calcitonin gene-related peptide (CGRP) in osteoblasts of the periodontal ligament during orthodontic tooth movement. *Biomedical Res*, 25(3): 147-154, 2004.
- 2) Yamada K, Saito I, Hanada K, Hayashi T: Observation of three cases of temporomandibular joint osteoarthritis and mandibular morphology during adolescence using helical CT. *J Oral Rehabil*, 31(4): 298-305, 2004.
- 3) Gramaticescu CE, Terada K, Ishii K, Watanabe N, Ono K, Morita S, Hanada K: Three-dimensional evaluation of mid-facial development in unilateral cleft lip and palate patients. *Orthodontic Waves*, 63(2): 40-47, 2004.
- 4) Estomaguio GA, Yamada K, Ochi K, Hayashi T, Hanada K: Craniofacial morphology and inclination of the posterior slope of the articular eminence in female patients with and without condylar bone change. *CRANIO*, 22: 2004. (in Press)
- 5) Ali IM, Yamada K, Hanada K: Mandibular antegonial and ramus notch depths and condylar bone change. *J Oral Rehabil*, 32(1): 1-6, 2005.
- 6) Yamada K, Tsuruta A, Hanada K, Hosogai A, Kohno S, Hayashi T: Condylar bone change and sagittal incisal and condylar paths during mandibular protrusive excursion. *CRANIO*, 23: 2005. (in Press)
- 7) Yamada K, Tsuruta A, Hanada K, Hayashi T: Morphology of the articular eminence in temporomandibular joints and condylar bone change. *J Oral Rehabil*, 31(5): 438-444, 2004.
- 8) Tsuruta A, Yamada K, Hanada K, Koyama J, Hayashi T, Hosogai A, Kohno S: Comparison of condylar positions at intercuspal and reference positions in patients with condylar bone change. *J Oral Rehabil*, 31(7): 640-646, 2004.
- 9) Tsuruta A, Yamada K, Hanada K, Hosogai A, Koyama J, Hayashi T, Kohno S: Relationship between morphological changes of the condyle and condylar position in the glenoid fossa. *J Orofacial Pain*, 18(2): 148-155, 2004.
- 10) Chen F, Terada K, Hanada K: A new method of predicting mandibular length increment on the basis of cervical vertebrae. *Angle Orthod*, 74(5): 630-634, 2004.
- 11) Yamada K, Hanada K, Hayashi T: Double contours and craniofacial morphology. *CRANIO*, 23: 2005. (in Press)
- 12) Chen F, Terada K, Hanada K: A Special method of predicting mandibular growth potential for Class III malocclusion. *Angle Orthod*, 75(2): 191-195, 2005.
- 13) Saito I, Yamaki M, Hanada K: Non-surgical treatment of adult open bite using edgewise appliance combined with high-pull headgear and Class III elastics. *Angle Orthod*, 75(2): 277-283, 2005.
- 14) 青砥聖二, 深町博臣, 葭原明弘, 齋藤 功: 咬合分類判定の再現性に関する研究. *Orthodontic Waves*, 63(2): 95-99, 2004.
- 15) 饗場広和, 齋藤 功, 山崎幸一, 古里美幸, 丸山裕子, 八幡 誠, 渡辺 厚, 森田修一, 花田晃治: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における上顎前突症例のI期治療に関する臨床統計. *甲北信越矯歯誌*, 11(1): 42-46, 2003.
- 16) 長田文子, 吉澤恵美, 穴田真依子, 藤村英理子, かづきれいこ: 婦人科がんにおけるリハビリメイクの実践と効果. *日本顔学会誌*, 4(1): 75-80, 2004.
- 17) 山田一尋: 変形性関節症の臨床的指針に関する研究, - タッピング運動, 咬頭嵌合位 - 最後退位(IP-RCP) slide による検討 - . *日本顎関節学会雑誌*, 16(1): 33-37, 2004.
- 18) 川原のぞみ, 森田修一, 星 隆夫, 花田晃治, 林 孝文: 骨格性下顎前突症患者における術前・術後の下顎骨と舌骨の位置関係について - CT画像による検討 - . *日顎変形誌*, 14(2): 122-130, 2004.
- 19) 山田秀樹, 森田修一, 花田晃治: Angle II級不正咬合の転医症例. *甲北信越矯歯誌*, 11(1): 19-25, 2003.
- 20) 森田修一, 池 元太郎, 花田晃治, 中村 道, 矢野由人: 上顎前突症例における矯正治療後の長期的形態変化について. *甲北信越矯歯誌*, 11(1): 36-41, 2003.
- 21) 小野和宏, 小林正治, 安島久雄, 高木律男, 毛利 環, 橋本明彦, 田中 礼: 垂直的歯槽骨延長法を用いて顎堤形成を行った1例. *新潟歯学会誌*, 34(2): 55-60, 2004.
- 22) 寺田員人, 中川公貴, 山崎幸一, Jabbar Shahiqul, 陳 鳳山, 花田晃治, 宮永美知代: 非接触型3次元表面形状計測装置を用いた顔面部の計測について. *日本顔学会誌*, 4(1): 57-65, 2004.